

工事標示板及び迂回路の施設

1. 工事名標示板

河川工事等で工事区間の起終点付近の見易い箇所に設置する。

2. まわり道の標示

まわり道の入口に（１）のまわり道標示板を設置し、まわり道の途中の各交差点においては、参考（１）、（２）に示す要領により、補助板（２）等を設置するものとする。

3. 防止柵等

危険、立入禁止のため柵を設ける場合は、当該箇所にバリケード等適当な設備を行い、必要な標識類を設置する。

（保安施設設置基準（案）を参考とする）

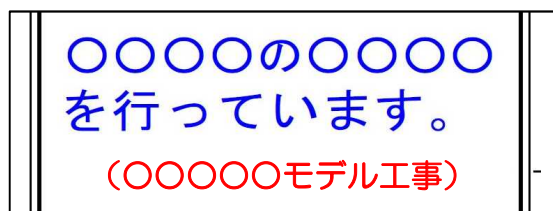
工事標示板および迂回路の施設

1. 工 事 標 示 板

(1) 工事名標示板（記載例）



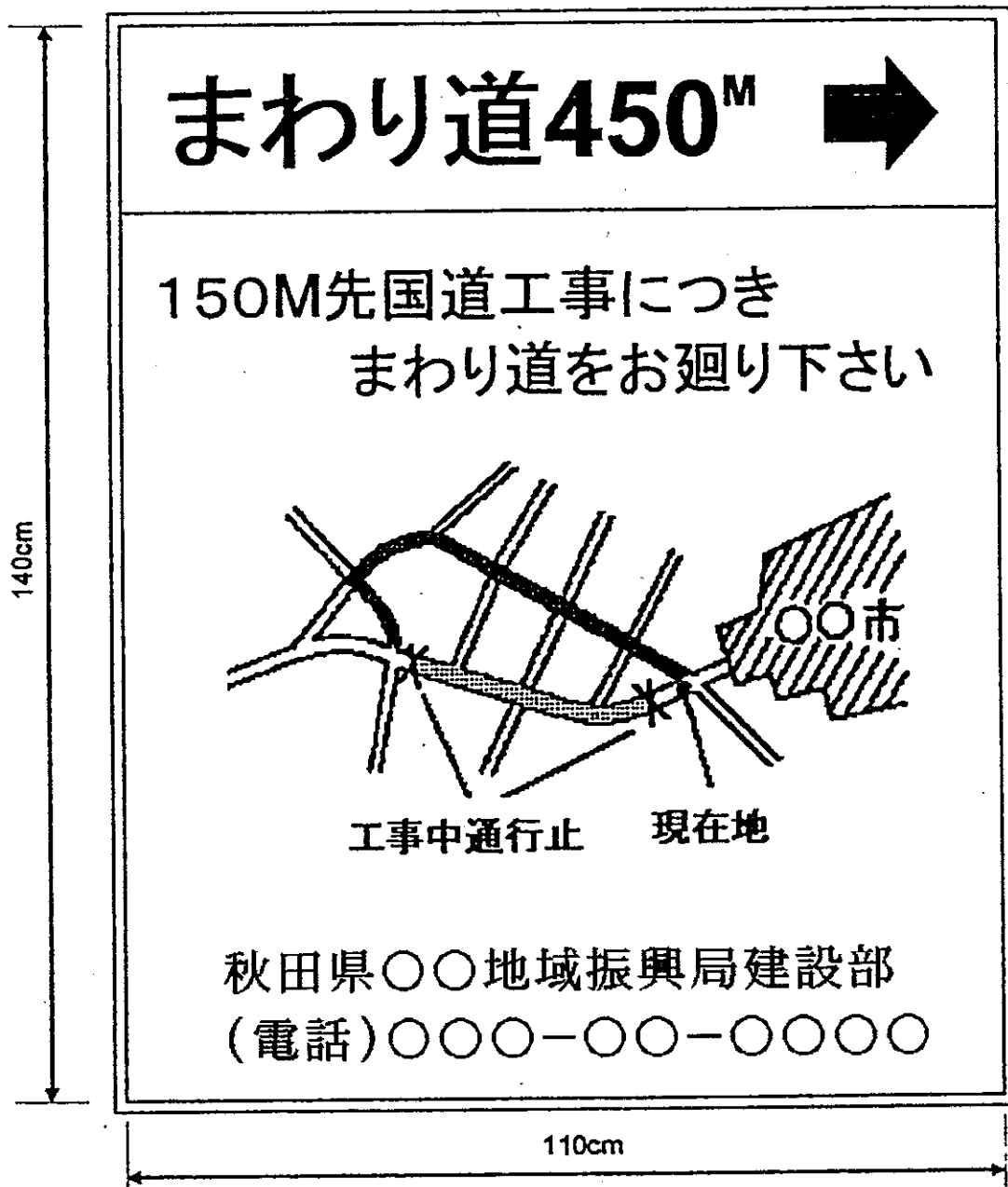
- (1) 「ご迷惑をおかけします」、「〇〇〇〇工事」は、青地に白抜き文字とし、必要に応じ反射装置を施したものとする。
- (2) 「〇〇〇〇を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字その他の文字および線は黒色、地を白色とする。
- (3) 縁線の余白は2 cm、縁線の太さは1 cmで黒色とする。
- (4) 河川、その他工事の場合は、当該工事名を記入するものとする。
- (5) 工事期間等に変更があった場合は、直ちに修正するものとする。
- (6) 文字サイズ、レイアウトは記載内容に応じて調整するものとする。
- (7) モデル工事の場合は、下図を参考として工事内容の下に、赤字でモデル工事名を記載するものとする。



モデル工事の場合の記載例

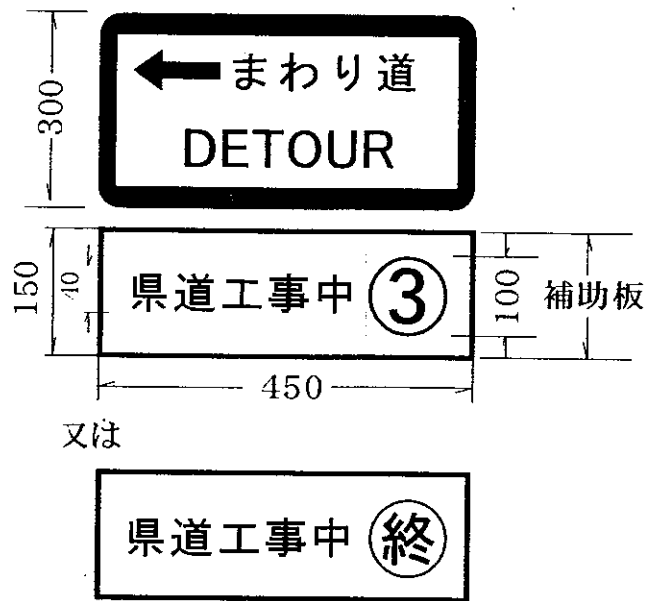
2. 迂 回 道 の 標 示

(1) まわり道標示板



- 注. 1. 色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。
2. 緑の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。
3. 必要に応じて「まわり道450M➡」又は➡の文字もしくは記号に反射装置を施すものとする。

(2) 補助板



注. 補助板の色は、矢印を赤色、文字は青色、地を白色とする。

図 1

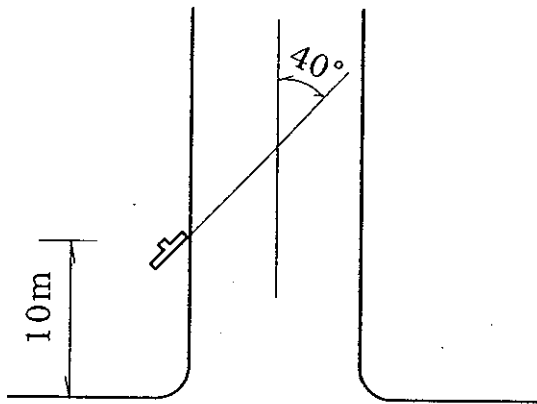
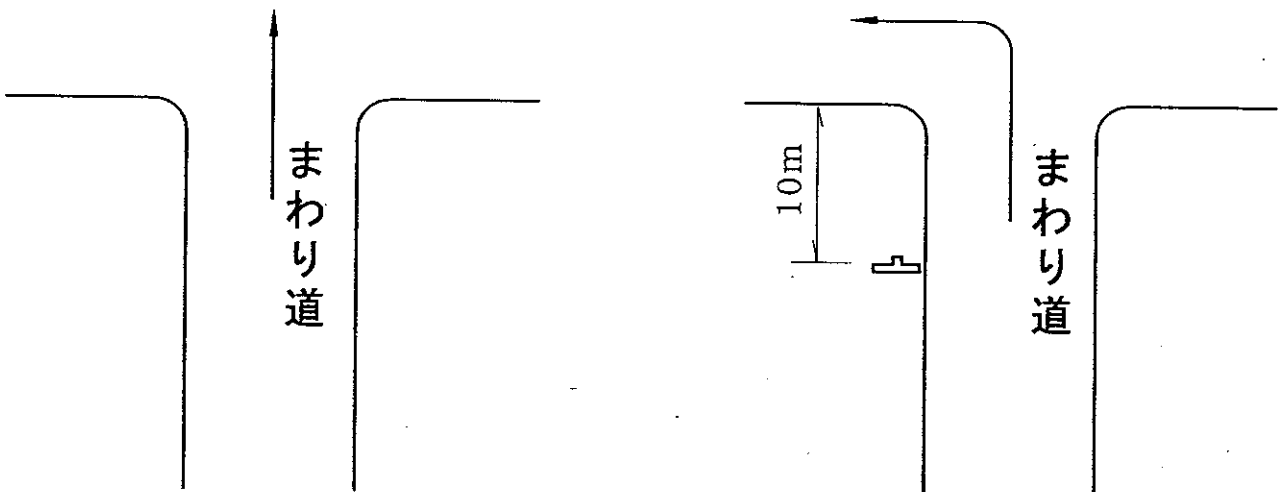
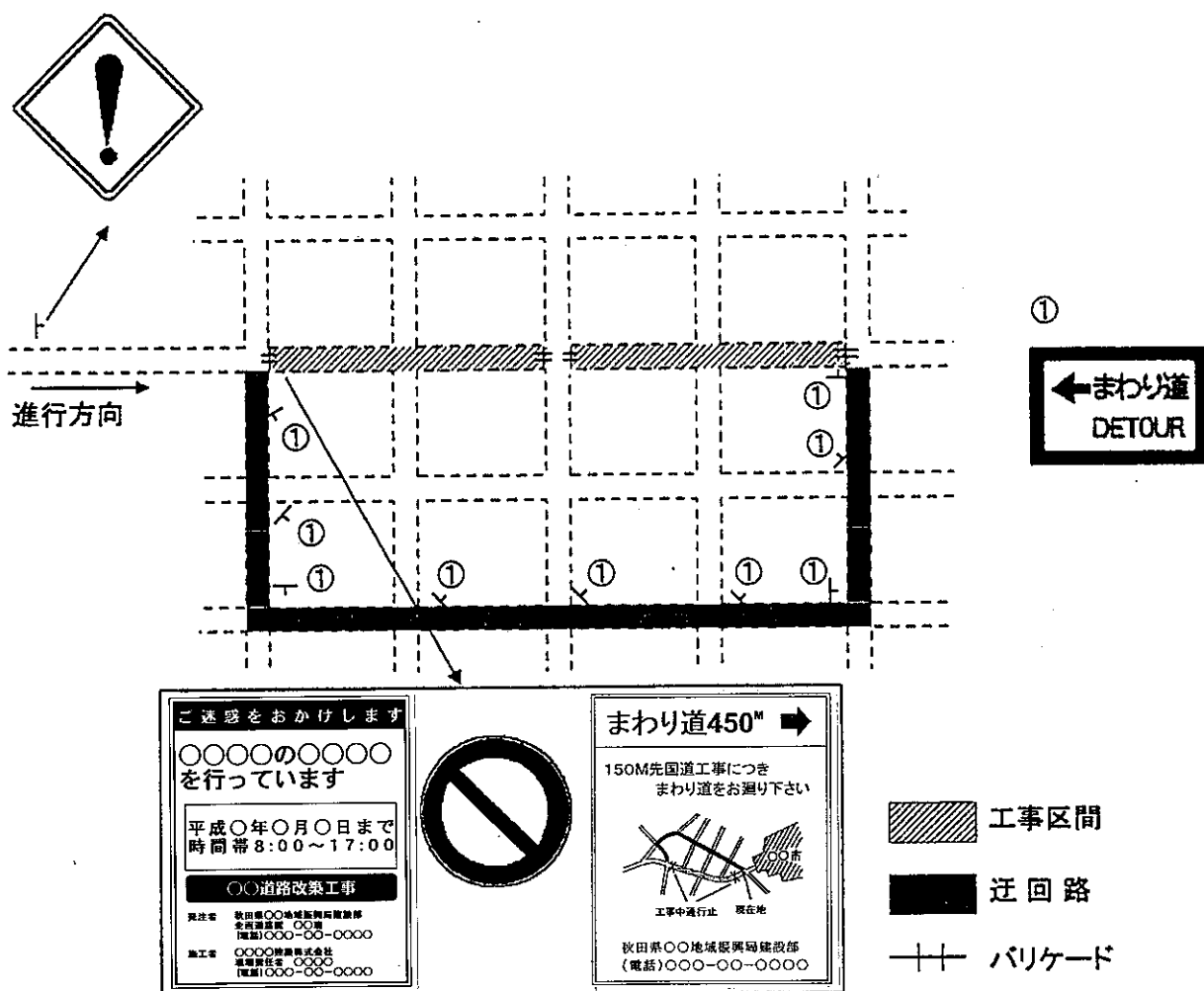


図 2



(進行方向に対する標識の設置例を示す)



(進行方向に対する標識の設置例を示す)



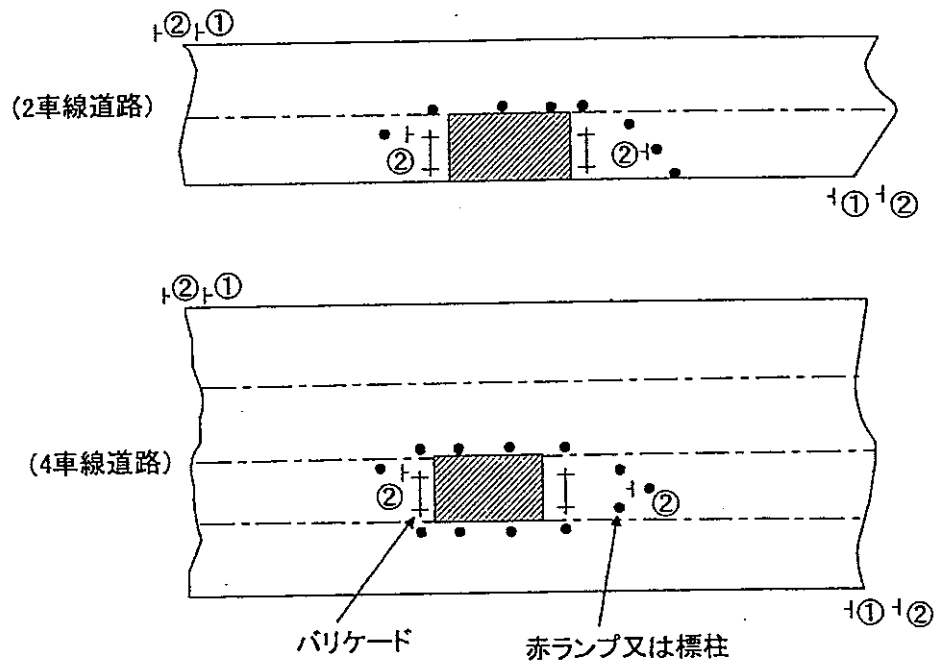
工事標示板及び迂回路の施設

参考(2-1) 車線の一部が工事中の場合の標示例

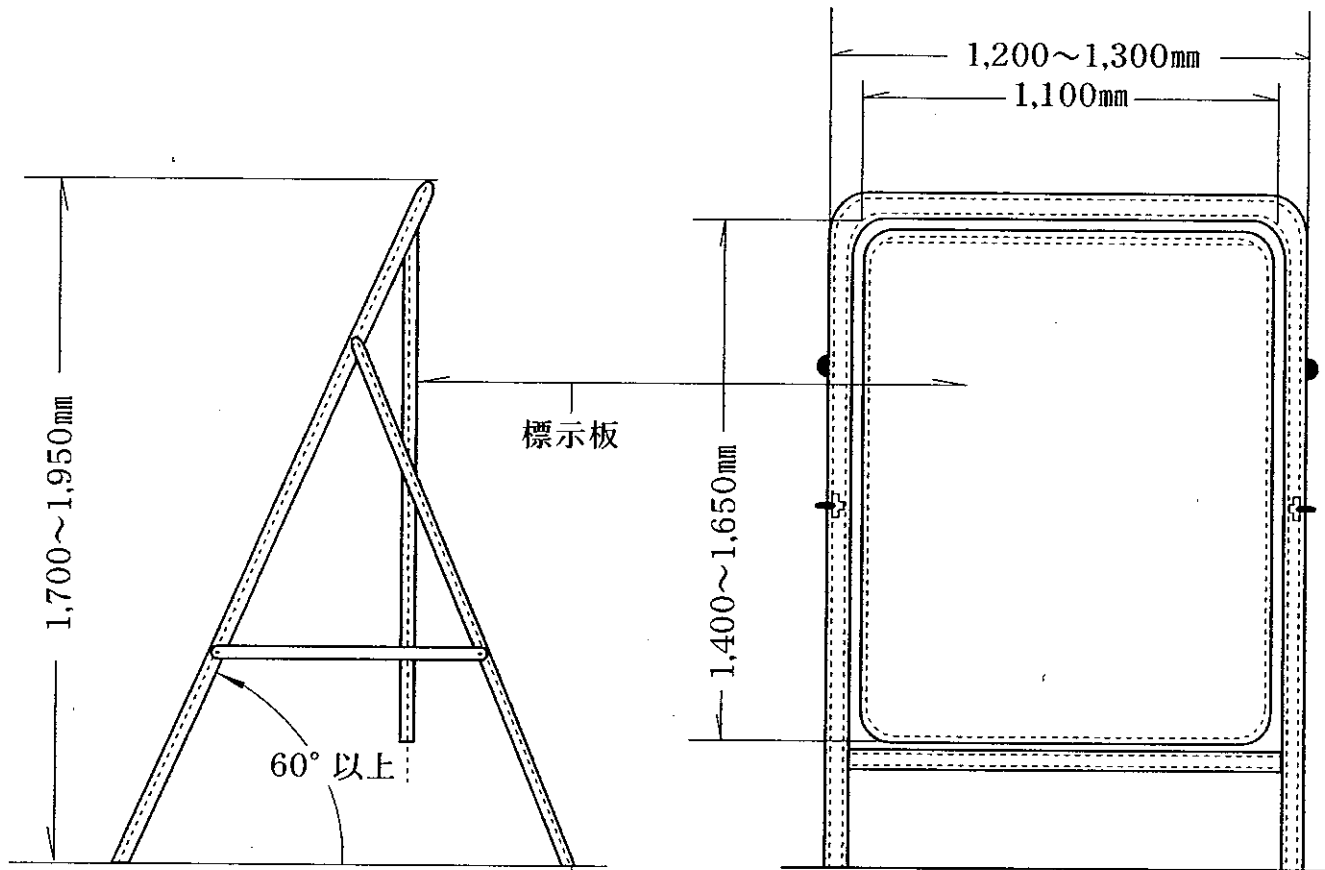
① 必要あれば設置する



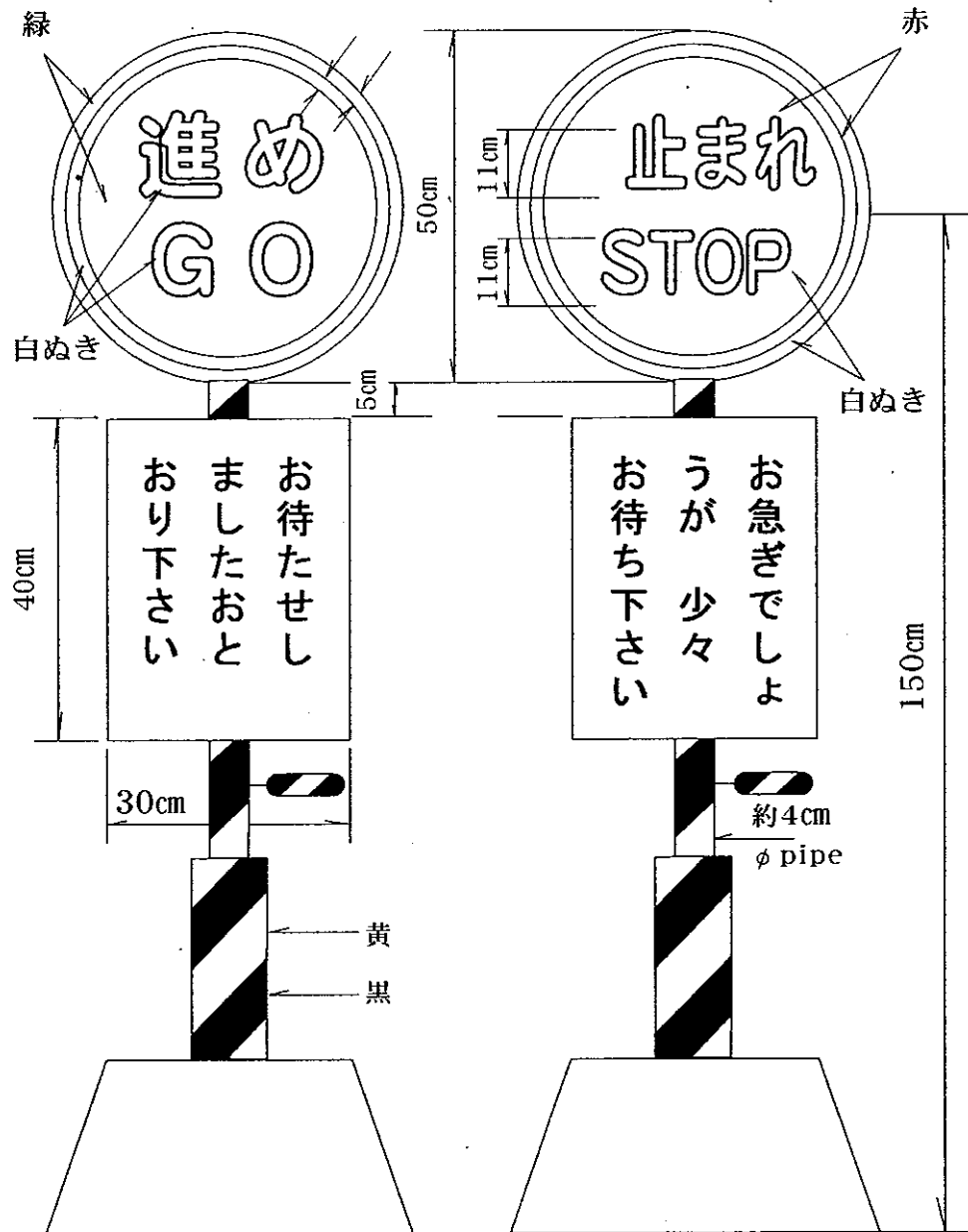
②



参考(3)設置方法の例



交通誘導用手動式信号機



防 止 柵 図1（一般用その1）

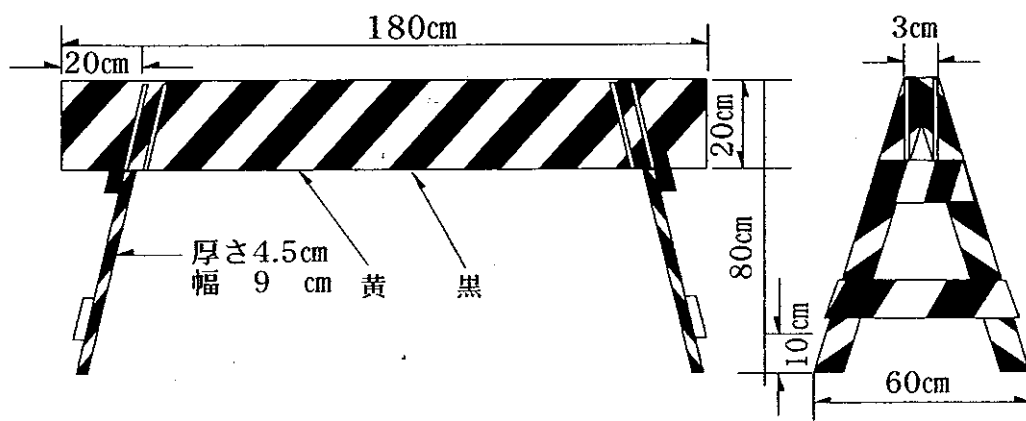


図2（一般用その2）

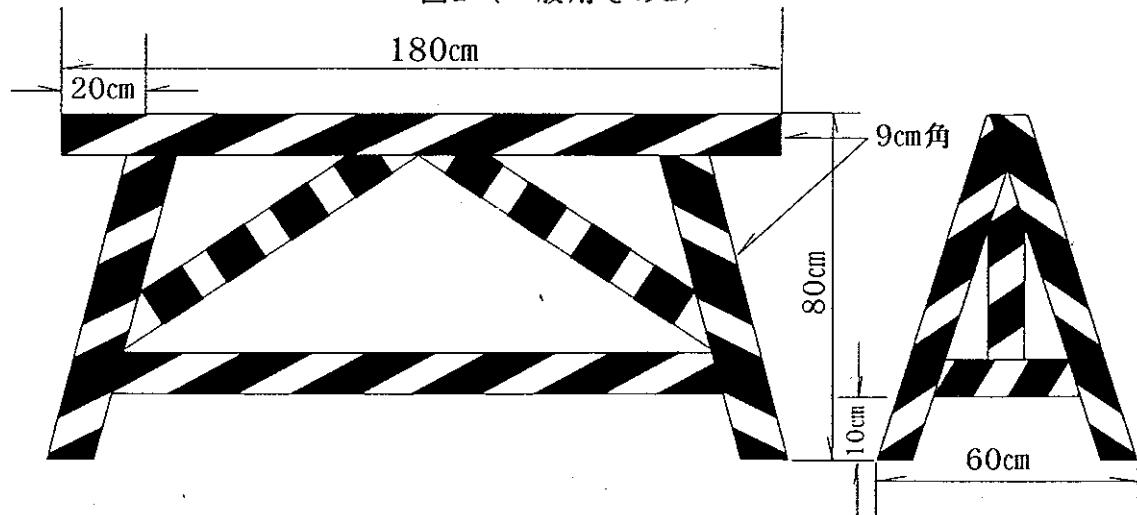


図3（一般用その3）

